

# 先輩紹介

T・Aさん

所属：

アドミッションセンター

入職年度：2014年



## ○現在の業務について

入職して3年間は、生涯学習センターで「秘書技能検定」や「フードコーディネーター」などの資格取得対策講座、公務員試験対策講座などの運営をしていました。4年目から現在までは、アドミッションセンターでオープンキャンパスや入試にかかわる業務に当たっています。

現在担当しているのは、オープンキャンパスの学生スタッフ取りまとめです。ポータルを使って募集をかけ、シフトを組んで説明会を行い、当日の指示出しをします。

入試の監督業務や、資料作成、当日の運営などの他、広告の原稿作成や予備校などのアンケート調査回答も行っています。

## ○渡辺学園を選んだ理由

就職活動を始めた頃は出版業界を目指しており、内定を頂いた会社で約1年間アルバイトをしていました。昼間は国家試験対策や実習に取り組み、放課後は会社で自分の企画を進め、眠る間もなく働いていました。撮影や営業、編集など、憧れの現場で体験する仕事は面白くて、小さな作業が積み重なって形になっていくことに強いやりがいを感じました。

ただ、出版業界の労働制度や仕事量を実際に体験し、この場所に長く居ることは難しいかもしれない、という気持ちになることもありました。

そんな時に見つけたのが、渡辺学園の求人です。大学なら、パンフレットなどの制作で編集に近い仕事ができるかもしれないと思いました。また、就職活動中、同じ状況の学生から働くことへの消極的な声を聴くことがあり、大変勿体なく感じていたので、社会人になる前の学生が夢を見つける・選ぶ・叶えるきっかけ作りがしたいと思っていました。大学にいれば、そんな仕事ができるのでは、と思ったのもこの仕事を選んだ大きな理由です。

他大の選考もいくつか受けたのですが、「この場所で、自分に何ができるか、何がしたいか」という意見が一番強く持った渡辺学園を第1志望にしました。

## ○仕事のやりがい

例えば、生涯学習センターでは公務員になるかどうか悩んでいた学生の相談を受け、一緒に問題を解決してきました。アドミッションセンターに異動したとき、その学生たちのインタビューがパンフレットに載っていて、夢を叶えて働く姿を見られた時は大変嬉しかったです。自分の仕事が人の未来に繋がったことを実感し、やりがいを感じました。

また、オープンキャンパスの学生スタッフから「高田さんに憧れて、私も大学職員を目指しました」と言われたことがあり、強く記憶に残っています。自分の仕事が評価されたように感じられる出来事でした。

## ○応募者へのアドバイス

就活中は心に余裕もなく、周りはいくつ進路を決めていくように見えて辛いと思うのですが、自らの夢の実現と、自立した自分の生活についてしっかり考え、妥協せずに進路を決めてください。

また、インターンやアルバイトなどの職場体験は、積極的に参加すると思います。